



2020年度3月期

決算補足説明資料

2021年5月13日

ぴあ株式会社

東京証券取引所市場 第一部

証券コード：4337

[1]2020年度 業績の概要

1)決算のポイント

2)新型コロナウイルスによる、当社及び業界への影響

3)業績(短信ダイジェスト)

4)主な取り組み

[2]2021年度の業績予想及び配当予想、及び 中期経営計画(2021~2023年度)について



1) 決算のポイント

当社グループ通期連結業績のポイントは以下の通り。

- 1) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、集客イベントの開催制限が継続され、特に音楽・ステージジャンルにおいては、前年実績の8割を超える市場が消失。(次ページ参照)**
- 2) 期初以来断行してきた全社経費の2割以上の縮減策の効果の発出、ならびに動画配信事業の強化策等により赤字幅は漸次減少するも、第4四半期における緊急事態宣言で集客イベントへの開催制限が再び強化され、業績の回復も鈍化。
その結果、通期での売上高、営業利益、経常利益、当期利益ともに、2021年2月12日に発表した連結業績予想通りに着地。**
- 3) 資金状況については、長期借入金主体のシンジケートローンに切り替えるなど、今年度の事業継続に必要な資金は確保済み。中長期的には、自己資本の増強、資本金劣後ローンによる調達、さらには三菱地所との業務資本提携による増資等により、財務基盤の強化を図る。**
- 4) 配当は、通期業績を踏まえ、誠に遺憾ながら無配とする。**



2) 新型コロナウイルスによる、当社及び業界への影響

【当社への影響について】

- ・ 昨年2月下旬以降、政府からの自粛要請によるイベントの中止・延期が相次ぎ、膨大な量のチケットの払戻対応が夏まで継続。
- ・ 7月10日に開業した「ぴあアリーナMM」は、予定されていたイベントの多くが中止となり多大な影響を受けたが、秋以降、主催者と協力して徹底した感染防止対策を行い、有観客、無観客の公演を月数本レベルで実施。

【ライブ・エンタテインメント業界への影響について】

- ・ 2月には、映画、音楽、演劇、スポーツの4つの業界を横断的に連携させた「集客エンタメ産業連絡会」を発足、当社がその事務局を担い、政府に対し、即効性かつ実効性を伴った大規模な支援策・救済策を強く求めてきた。
- ・ オンライン配信市場は448億円に急成長するも、2020年3月から2021年2月の1年間に消失した集客エンタメ市場規模は約8,800億円と推計。2019年と比較し、マイナス77%にあたる。

※4/19 速報値		売上消失額の年間計 〔対象期間：2020年3月～2021年2月〕	2019年市場規模に対する消失割合	2019年の市場規模 (2019年1月～2019年12月)
公演・試合等が、中止・延期、入場者制限等により消失した入場料金の		▲8,800億円	77%減	1兆1,400億円
内訳	音楽	▲3,800億円	90%減	4,200億円
	ステージ	▲1,600億円	76%減	2,100億円
	映画	▲1,200億円	46%減	2,600億円
	スポーツ	▲1,400億円	88%減	1,600億円
	その他	▲800億円	89%減	900億円



3) 業績(短信ダイジェスト) ① 業績予想との比較

集客イベントへの開催制限が、昨年9月以降に一時的に緩和され、当初想定を上回る回復傾向が見られたものの、2度にわたる緊急事態宣言により、市場の回復は非常に緩慢となり、売上高、営業利益、経常利益、当期利益ともに、ほぼ連結業績予想通りに着地。

【連結】 業績予想との比較

[単位:百万円]

	業績予想 (2021年2/12発表)	2020年度 実績	業績予想との差
売上高	72,000	67,355	△4,645
営業利益	△6,000	△6,231	△231
経常利益	△6,000	△6,008	△8
親会社株主に帰属する 当期利益	△6,500	△6,664	△164



新型コロナウイルスの感染拡大防止を理由に、イベントの開催における収容人数や収容率、終演時刻等が断続的に制限され、主催事業、チケットインギ事業、ソリューション事業等において、いずれも前年を大幅に下回る結果となった。

【連結】 前年比較

[単位:百万円]

	前年度	2020年度	前年比
売上高	163,204	67,355	△41.3%
営業利益	1,104	△6,231	－%
経常利益	1,110	△6,008	－%
親会社株主に帰属する 当期利益	121	△6,664	－%

3)業績(短信ダイジェスト) ③連結損益計算書(要約)



[単位:百万円]

	【前年度】	【2020年度】	【前年度差】
売上高	163,204	67,355	△95,849
売上原価	149,034	63,888	△85,146
差引売上総利益	14,260	3,599	△10,661
販管費	13,156	9,831	△3,325
営業利益	1,104	△6,231	△7,335
営業外収益	54	836	+782
営業外費用	48	613	+565
経常利益	1,110	△6,008	△7,118
特別利益	—	—	—
特別損失	688	158	△530
税引き前当期純利益	422	△6,166	△6,588
法人税等合計及び非支配株主利益	300	498	+198
親会社株主に帰属する当期純利益	121	△6,664	△6,785
包括利益	122	△6,667	△6,789

3) 業績(短信ダイジェスト) ④ 連結貸借対照表(要約)



[単位:百万円]

資産の部		
	【前年度】	【2020年度】
現預金	23,869	15,135
売掛金	11,707	10,449
商品等	129	117
その他	3,099	5,205
流動資産：前年度比7,914減少		
流動資産	38,821	30,907
有形固定	11,434	13,030
無形固定	4,783	4,880
投資その他	3,570	3,965
固定資産：前年度比2,088増加		
固定資産	19,788	21,876
資産合計	58,610	52,784

負債の部		
	【前年度】	【2020年度】
流動負債：前年度比16,349減少		
流動負債	42,715	26,366
固定負債	9,875	24,508
負債合計	52,591	50,874
純資産の部		
資本金	4,924	4,924
資本剰余金	1,121	1,093
利益剰余金	4,289	△3,904
自己株式	△4,331	△216
他包括利益	△51	△45
非支配株主持分	66	57
純資産合計	6,019	1,910
負債純資産合計	58,610	52,784



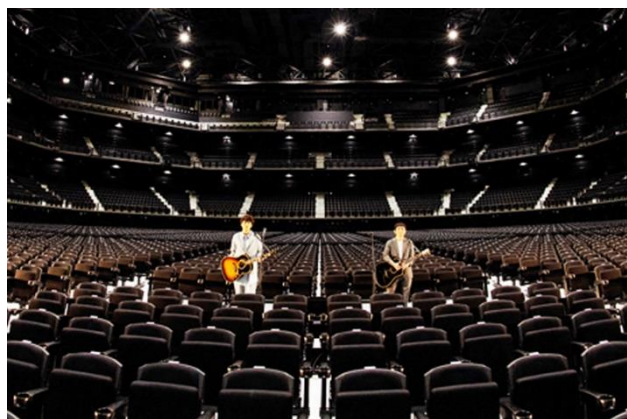
[単位:百万円]

	【前年】	【2020年度】	【前年度比】
税引き前当期利益	422	△6,166	△6,588
減価償却費	1,361	1,990	+629
売上債権の増減	9,052	1,257	△7,795
仕入債務の増減	△7,317	△16,336	△9,019
その他	△4,757	△3,443	+1,314
利息・税金等	△1,112	839	+1,951
営業キャッシュ・フロー	△2,351	△21,858	△19,507
無形固定資産の取得	△1,754	△1,360	+394
その他	△6,209	△2,803	+3,406
投資キャッシュ・フロー	△7,963	△4,163	+3,800
財務キャッシュ・フロー	8,979	17,285	+8,306
キャッシュの増減	△1,337	△8,733	△7,396

4) 主な取り組み ～会場運営事業の本格化～



ぴあアリーナMMは、創業記念日にあたる7月10日に「ゆず」による柿落とし映像配信を行い、正式に開業。業界からの評価も高く、貸館予約は好調。コロナ禍収束後の本格稼働を待つ。



3階 ラウンジ「CLUB38」



2階 カフェ&ダイニング
「The Blue Bell」

【2020年度にぴあアリーナMMで開催された主なイベント】

- **ゆず** 「YUZU ONLINE TOUR 2020 AGAIN DAY3 : 新天地 inぴあアリーナMM」 ※オンライン配信
- **Creepy Nuts** 「Creepy Nuts One Man Tour かつて天才だった俺たちへ」
- **JAM Project 20th Anniversary Special JAM FES.**
〈JAPAN ANISONG MEETING FESTIVAL〉 ※オンライン配信
- **HYDE** 「HYDE LIVE 2020-2021 ANTI WIRE」
- **RIZIN** 「RIZIN.22 - STARTING OVER -」
- **Saint Snow** 「ラブライブ! サンシャイン!! Saint Snow 1st GIG」



4) 主な取り組み ～業務提携による強化～

「ぴあアリーナMM」において連携をスタートした三菱地所と、ライブ・エンタテインメントと街づくりの一体化を通じた協業に合意。相互の企業価値をさらに高めるため、業務・資本提携を決定（2021年5月）

人を、想う力。街を、想う力。



《具体的な協業・提携事項》

- ・ライブ・コンテンツ施設の経営及び運営機能の強化
- ・ライブ・コンテンツ力の強化
- ・街への波及効果とデータ・マーケティングの強化
- ・新規事業の獲得
- ・合併会社の設立

《資本提携》

三菱地所は、当社が第三者割当により発行した新株式（約20億円相当）を引き受ける形で資本参加

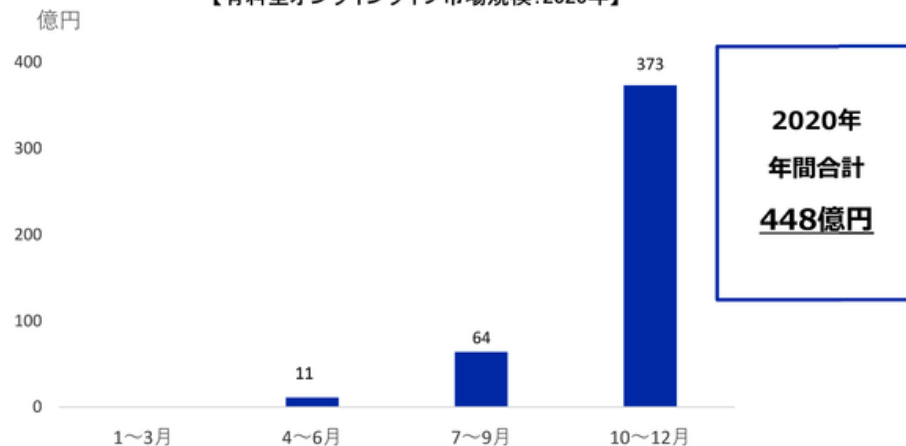


4) 主な取り組み ～新たなサービスの開発①～

コロナ禍におけるアーティストの活動の場を提供するべく立ち上げた、ライブ動画配信サービス「PIA LIVE STREAM」が急成長



【有料型オンラインライブ市場規模:2020年】



【2020年度の主な当社主催のオンライン配信】

ぴあ総研が国内オンラインライブ市場に関する市場調査を実施し、2020年内の有料型オンラインライブの市場規模が推計448億円に上ると公表。



UP!!!NEXT SPECIAL EDITION 2020ゲスト 乙女大集合-アリーナ編-



～韓流ぴあPresents Kミュージカルシネマ～「モーツァルト！」ライブストリーミング



ナナマル サンバツ THE QUIZ STAGE

【re-START】

エンタメ再始動に向けて。

「PIA LIVE STREAM」は、2020年5月にコロナ禍からエンタメ再始動のために何かできないか、と若手社員の発案でスタートしたぴあ [re:START] (リスタート) プロジェクトのひとつ。

4) 主な取り組み ～新たなサービスの開発②～



国際的規模のスポーツイベントのチケット受託や、
チーム・団体へのソリューション提供で培ったノウハウ
を活かし、スポーツ経営における人材を育成する
「ぴあスポーツビジネスプログラム」(PSB)を
2021年4月に開講



毎週、全国からスポーツ業界を目指す23名が受講中



◆スポーツビジネスの現場で活躍する現役の講師陣

- ・パシフィックリーグマーケティング(株) 代表取締役CEO 根岸友喜氏 (左の写真)
- ・(公社)日本プロサッカーリーグ(Jリーグ) コミュニケーション部 広報・メディアG グループマネージャー 吉田国夫氏
- ・(株)ガンバ大阪 営業部部長 伊藤慎次氏
- ・横浜マリノス(株)FRM事業部 部長 永井紘氏
- ・(株)鹿島アントラーズ・エフ・シー マーケティングG マネージャー 春日 洋平氏
- ・シティ・フットボール・グループ パートナーシップ セールスマネージャー 西脇 智洋氏
- ・(株)梓設計 常務執行役員 永廣 正邦氏
- ・ぴあ(株)執行役員クラス など

プログラムヘッドマスター



ぴあ(株) 主席執行役員
ライブ・エンタテインメント
本部長
東出隆幸



ぴあ(株) 執行役員
スポーツ・ソリューション
推進局長
永島 誠

4) 主な取り組み ～チケットティング事業 におけるDX施策①～



エンタテインメント情報の配信・プロモーションのDX (デジタルトランス フォーメーション)と、チケット販売との連携を強化



完全
連携



ぴあ(アプリ)

125万ダウンロードを突破。
チケットぴあの機能を組み
込み、フルリニューアル



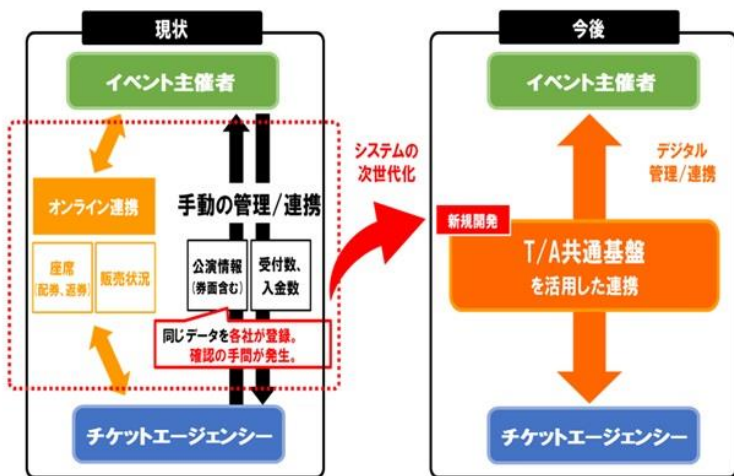
チケットぴあ(アプリ)

チケット購入を、より簡単、
便利に提供するためのアプリ
を2020年10月にリリース

4) 主な取り組み ～チケットティング事業 におけるDX施策②～



踏み込んだソリューション連携により、チケットティング業務のDXを加速



イベント主催者向けに “チケット業務の共通基盤”を開発

チケットエージェンシー大手のローソンエンタテインメント、イープラスと共同で、イベント情報・チケット票券管理業務のための共通基盤システム「TAプラットフォーム」を協同で開発。

ダイナミックプライシングの拡充により、主催者の利益向上を支援

Jリーグクラブやプロ野球団への導入を推進し、2018年のスタート時に比べ、対象チケットの取扱高は約7倍に拡大。ダイナミックプラス社は当社からの追加出資により、持分法適用会社になりました。

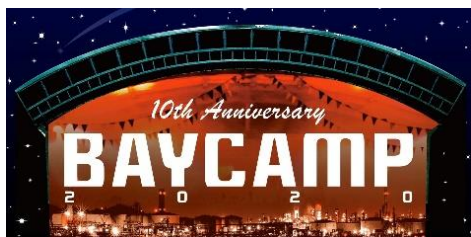
4) 主な取り組み

～主催・共催等で参画した
各種公演・イベント～



コロナ禍でありながらも、エンタメの火を絶やすことのないよう、
徹底した感染防止対策を行い、様々な公演・イベントを開催

【2020年度の主な当社主催等イベント】



【音楽】 BAYCAMP 2020
(@ぴあアリーナMM)



【美術展】
ピーター・ドイグ展



【美術展】
佐藤可士和展



【音楽】 オダイバ!!超次元音楽祭
ヨコハマからハッピー
バレンタインフェス2021
(@ぴあアリーナMM)



【ステージ】
東京原子核クラブ



【音楽】
HINA-MATSURI2021



【イベント】 YOKOHAMA
MUSIC HARBOR 2021



【ステージ】 成井豊と
梅棒のマリアージュ

(c)Designed by SwimmyDesignLab

4) 主な取り組み ～国際イベントへの参画～



1年延期された「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催に向け、万全の準備を継続



- ・当社がチケットシステム&サービスオペレーション業務を受託しており、すでに観戦チケット第2次抽選販売を実施済。開催延期に伴う今後の対応を検討・準備中。

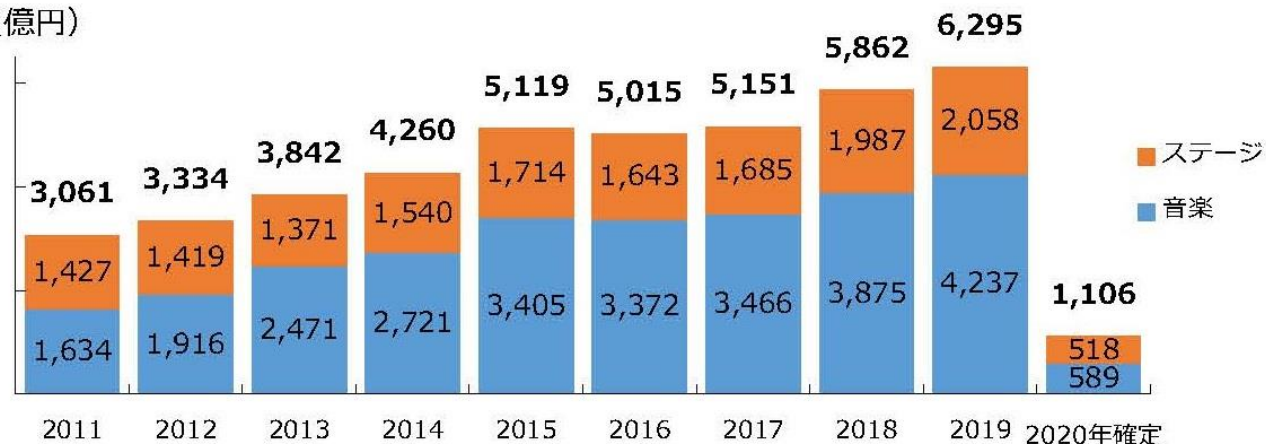
- ・長野五輪(1998年)、FIFAワールドカップ日韓大会(2002年)などの会場運営のノウハウを活かし、期間中の全会場におけるチケットング、ゲーティング業務を一括して受託。

4) 主な取り組み ～社業を通じた社会的活動①～

▶ぴあ総研より、集客エンタメ産業の市場消失率を随時発表

◆ライブ・エンタテインメント市場規模の推移

(億円)



▶業界全体の窮状を受け、映画・音楽・演劇・スポーツの全業界を横断的につなぎ、政府への支援を求める「集客エンタメ産業連絡会」を設立(2021年2月)、その事務局を担う



昨年5月には、日本記者クラブにて会見

4) 主な取り組み ～社業を通じた社会的活動②～



「第42回PFF(ぴあフィルムフェスティバル)」を開催



▲「第42回PFF」授賞式



PFF 初のオンライン映画祭を開催

妻夫木聡、李相日監督、眞島秀和、池松壮亮など豪華ゲストが連日登場

「第2回大島渚賞」

今回は、該当者なしの結果も、審査員の黒沢監督、大島新(あらた)監督を迎えて、記念のトークイベントを開催



4) 主な取り組み ～IR活動/CIの策定～



▶ 株主総会にもオンライン中継を導入、コロナ禍に対応



▶ 来年の創業50周年に向けて、当社の会社としての「ありよう」を、「ぴあコーポレート・アイデンティティ (CI)」としてまとめ、全従業員に共有

▶ 株主プレゼントキャンペーンを実施



毎年好評いただいております。今年にはぴあアリーナMMに併設したカフェ&ダイニング「Blue Bell」のお食事券や、人気のMOOK・書籍を約70名様にプレゼント



1998年に策定した「ぴあ人としてのありよう」をまとめた「PI」の冊子改訂版（左）と、新規に策定した「CI」の冊子（右）

[2]2021年度の業績予想及び配当予想、及び 中期経営計画(2021~2023年度)について



新型コロナウイルスによるイベント開催制限が大幅に緩和されれば、ここに至るまで抑え込まれた、多くの国民のエンタテインメント観賞への渴望を背景に、売上の急速な伸長が見込まれます。

しかし、大都市圏での緊急事態宣言が延長された現時点では、業績回復基調への足取りは停滞を余儀なくされ、今後の制限解除の推移についても見通し難い状況にあります。

以上のことから、2021年度の業績予想及び配当予想、及び中期経営計画の数値目標につきましては、合理的に算定することが極めて困難と判断し、開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。